

とうきょう すくわくプログラム活動報告書
国立あゆみ保育園

〈活動テーマ〉

4歳児 自然（むし・植物）

〈テーマ設定理由〉

国立あゆみ保育園には川や畑、芝生の園庭など、自然が豊かで、普段の活動で沢山の自然を活かした保育を展開している。その中で、子どもたちが興味関心を示した事にじっくりと向き合い、更なる好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりしていきたい。

〈活動スケジュール〉

- ・16名参加（5人2グループ・6人1グループ）
- ・春～夏 むし・お花探し（飼育・観察・絵画等）
- ・秋 落ち葉探し（観察・ステンドグラス作り等）
- ・冬 調べる（図鑑・タブレット・写真・プロジェクター等を用いて）
模倣遊び（劇あそび）発表

〈活動のために準備した素材や道具、環境設定〉

- ・虫とり網・カゴ ・図鑑 ・プロジェクター ・ラミネーター
- ・絵の具セット・クレヨン・画板
- ・ファープル（顕微鏡） ・Ipad ・ジョウロ ・落ち葉いれ

いつでも、活動に取り組めるよう

虫とり網・カゴ・ジョウロ・図鑑等子どもたちが自分で取りやすい環境作り。

〈活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり〉

別紙活動記録

〈振り返り〉

- ・年間通して、ゆっくり・じっくりと活動に取り組むことで生き物への興味・関心がより一層深まり、わからない花や虫など見つけた際には、自ら図鑑等を利用し調べる姿もみられた。
- ・自分で見つけた生き物の特徴を図鑑等で調べ、みんなの前で発表する事で学びを共有し、また劇遊びを通して模倣遊びをたのしみながら、それぞれの特徴を台詞として取り入れる事で、更なる学びを深めることができた。途中子ども達同士で配役をかえて、その子なりの台詞で進めるなど楽しく学びを広げることができた。
- ・身近な虫や花や落ち葉などを探す活動から、観察し調べ知識を深める活動、模倣遊びや表現・発表へと季節に応じて見通しを持って計画する事で、楽しみながら活動に取り組み、考えを広め深めていくことが出来た。
- ・保護者には懇談会やクラス便り、お遊戯会等を通してプログラム活動の取り組みについて周知を図った。